

砂川市第6期総合計画における まちづくりの取り組み

令和元年11月

砂川市総務部政策調整課

砂川市第6期総合計画のまちづくり

めざす都市像

『安心して

心豊かに

いきいき輝くまち』

安心

緑豊かな恵まれた自然環境と医療・福祉などが充実した良好な生活環境の中で、子供からお年寄りまで、市民一人ひとりがやさしさに包まれ、安全で安心して暮らせるまちを目指します。

心豊か

市民と行政の協働は、人と人の支え愛が原点です。人づくりや地域づくり、充実した教育・文化環境などが育まれた中で、やさしい心の通い合った、心豊かなまちを目指します。

いきいき

積極的な行動により、地域産業の活力を生み出すとともに、市民が生きがいを持ち、明るく元気な笑顔あふれる、いきいきとしたまちを目指します。

輝くまち

『安心』、『心豊か』、『いきいき』が結びついて、将来へ向かってチャレンジしながら可能性を伸ばし続け、人や地域が希望をもって輝くまちを目指します。

まちづくりの基本目標

6つのまちづくりの基本目標を設定し、市民、地域、行政の相互理解と協調のもとに、施策の展開を図ってきました。

- 1 『人と環境にやさしいうるおいのあるまち』
- 2 『健康としあわせ広がるふれあいのまち』
- 3 『いきいきと学び 豊かな心を育むまち』
- 4 『やすらぎと豊かさ広がる快適なまち』
- 5 『にぎわいと新たな活力を生み出すまち』
- 6 『次代へつなぐ市民と共に歩むまち』

まちづくりの共通した考え

- 1 協働によるまちづくりの推進
- 2 地域コミュニティの推進
- 3 健全な行財政運営の推進

1 人と環境にやさしいというおいのあるまち

豊かな環境を守るため、自然と共生する循環型社会の形成に向けた取り組みを進めてきました。

また、地域の暮らしを守り続けるため、交通安全対策や防犯対策の充実を図るとともに、市民の生命と財産を守る消防・救急体制や防災体制を整え、安全・安心に暮らすことができるまちづくりを進めてきました。

○街路灯(LED)整備事業

○太陽光発電普及促進事業

○災害対策事業

○防災備蓄品整備事業

○防災備蓄倉庫建設事業

○排水用水中ポンプ等整備事業

○砂川市公式LINEアカウントを活用した

防災情報の提供について

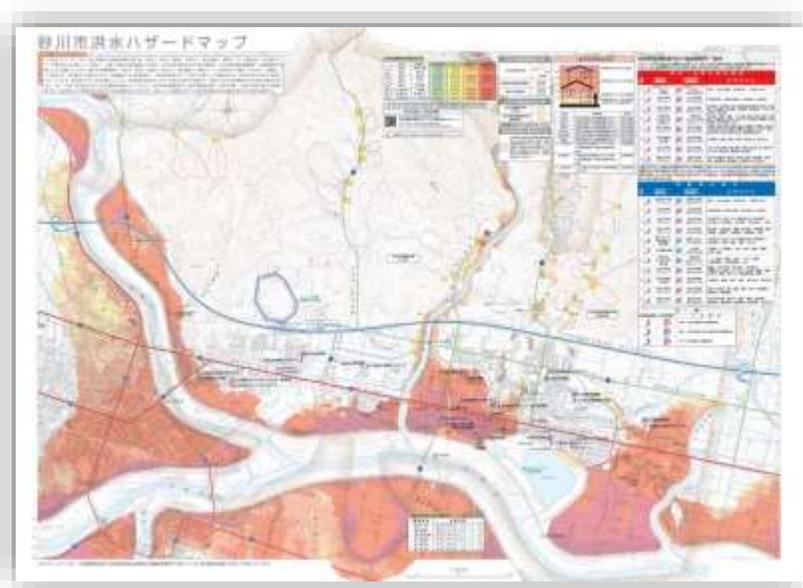
■ 街路灯(LED)整備事業(平成23年度～)



■ 太陽光発電普及促進事業(平成24年度～)



- 災害対策事業
- 防災備蓄品整備事業(平成26年度～)
- 防災備蓄倉庫建設事業(平成28年度)



ハザードマップ



地域防災訓練



防災備蓄倉庫



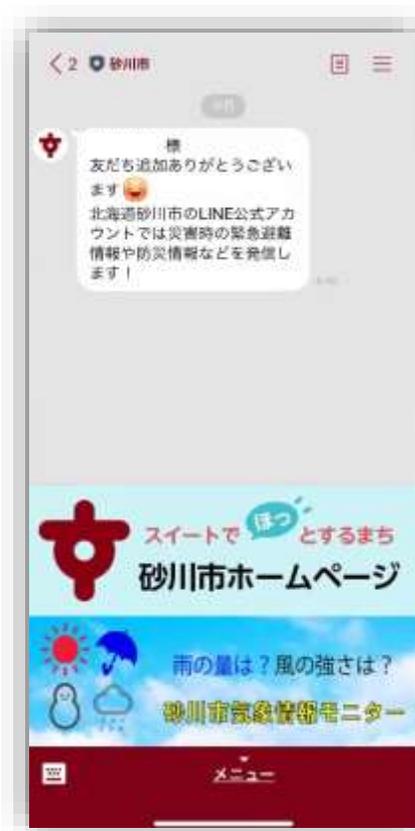
災害用ドローン

■ 排水用水中ポンプ等整備事業（平成29年度～平成30年度）



豊沼奈江川5号樋門

■ 砂川市公式LINEアカウントを活用した 防災情報の提供について(令和元年度)



砂川市公式LINEアカウント
QRコード

2 健康としあわせ広がるふれあいのまち

「保健・福祉・医療・介護」の連携のもとに適切なサービスの提供と健康づくりの充実に努め、市立病院を中心として、地域包括的な医療の充実を図り、健康と幸せをもたらすまちづくりを進めてきました。

- 高齢者支えあいネットワーク事業
- 地域密着型介護老人福祉施設整備事業
- 保育料軽減事業
- 多子世帯保育料負担軽減補助事業
- すこやか子育て応援事業
- 院内保育所の設置
- 病児・病後児保育事業
- 陣痛タクシー事業
- 医療機械器具整備事業
- 砂川市地域包括ケアネットワーク事業
- 中空知医療連携ネットワーク事業

- 高齢者支えあいネットワーク事業（平成25年度～）
- 地域密着型介護老人福祉施設整備事業（平成29年度）



- 保育料軽減事業(平成27年度～)
- 多子世帯保育料負担軽減補助事業(平成28年度～)



■ すこやか子育て応援事業

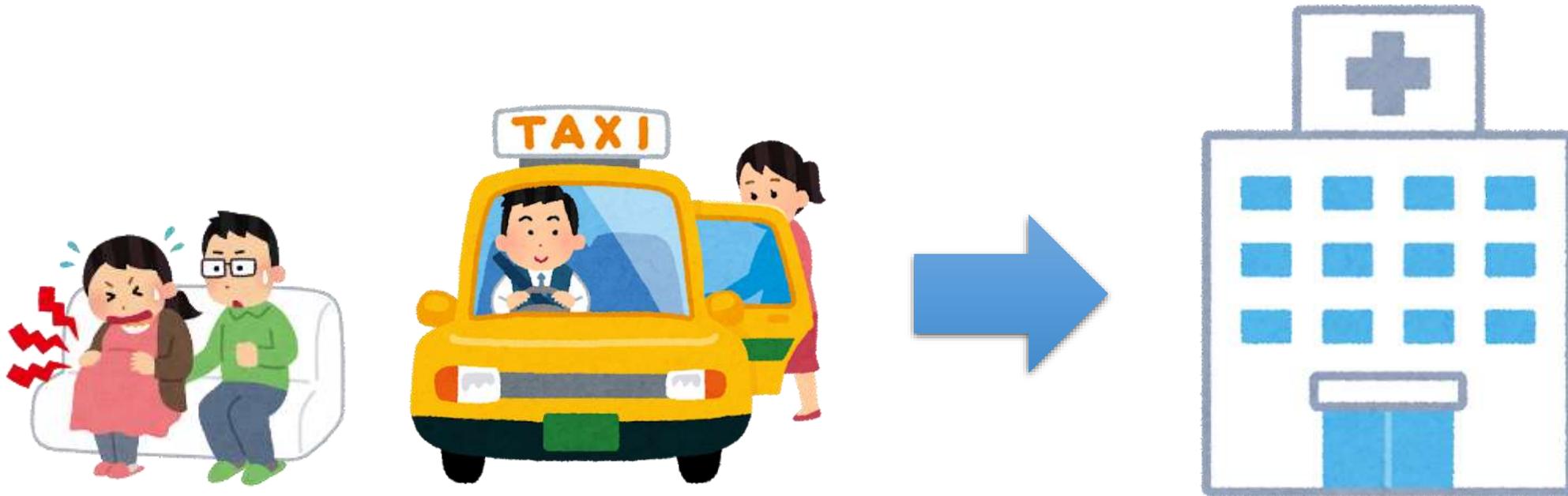
- ・子育て支援指定ごみ袋配布事業
- ・乳児おむつ無料クーポン券支給事業
- ・ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業



- 院内保育所の設置（平成24年度～）
- 病児・病後児保育事業（平成28年度～）



■ 陣痛タクシー事業（平成27年度～）

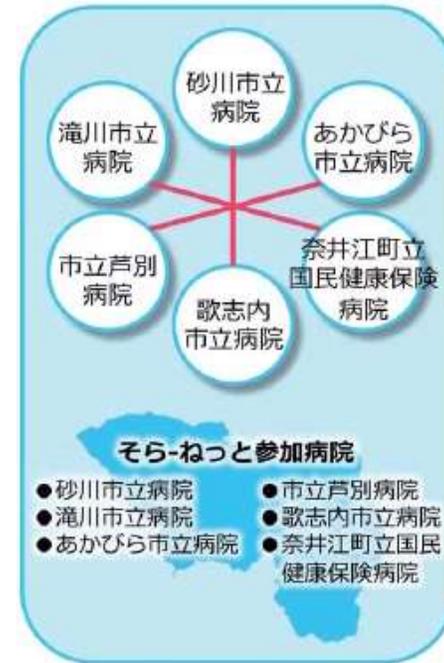


■ 医療機械器具整備事業

- ・ドクターカーの導入
- ・ハイブリッド手術室の導入 等



- 砂川市地域包括ケアネットワーク事業（平成27年度～）
- 中空知医療連携ネットワーク事業（平成28年度～）



3 いきいきと学び豊かな心を育むまち

子供たちを、学校、家庭、地域の連携により、明るく、仲良く、たくましく学びながら成長するよう、育んでいくとともに、誰もが生涯にわたって自主的・主体的に学びながら、創造性を高めていけるよう、学習環境や機会の充実を図ってきました。

- 砂川高校支援事業
- 放課後学習サポート事業
- 公民館耐震化工事事業
- スポーツ施設改修事業

■ 砂川高校支援事業(平成27年度～)



■ 放課後学習サポート事業（平成29年度～）



■ 公民館耐震化工事事業(平成27年度～)



■ スポーツ施設改修事業（平成25年度～平成29年度）

- ・海洋センター
- ・市営野球場
- ・総合体育館



4 やすらぎと豊かさ広がる快適なまち

まちなかに活力を生み出すため、まちなか居住、道路網、公共交通など都市基盤の検討や整備を進め、誰もが住みたい、住み続けたいと思える、魅力あふれるまちを目指してきました。

- 市立病院周辺環境整備事業
- スマートインターチェンジ整備促進事業
- 予約型乗合タクシー運行事業
- 住み替え支援事業
- 移住定住促進事業

■ 市立病院周辺環境整備事業（平成23年度～）

- ・北2丁目通りロードヒーティング整備
- ・北3丁目通り改良舗装工事



■ スマートインターチェンジ整備促進事業（平成27年度）



医療

- 砂川市立病院への救急搬送件数が年々増加するなか、平成28年には新生児集中治療室等が設置されるなど重要性が高まっています。
- 砂川SAスマートICの開通により、旭川方面から砂川市立病院への救急搬送時間は、夏期は約1分、冬期には約4分短縮され、迅速な救急活動を支援しています。
- 砂川SAスマートICの開通後、深川市立病院から砂川市立病院への救急搬送件数は増加傾向にあり、特に冬期は開通前1.8件/月に対して開通3年目には3.5件/月に増加するなど、広域的な医療活動に貢献し、安全で安心な地域生活を支えています。

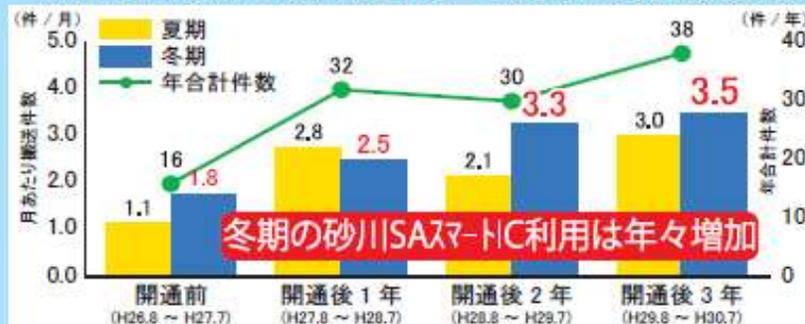


▼砂川市立病院への救急搬送件数



※出典：砂川市立病院救急搬送データ

▼砂川SAスマートICを利用した深川市立病院から砂川市立病院への月あたり救急搬送件数



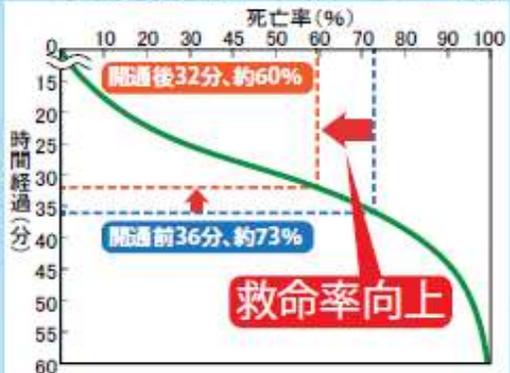
※出典：深川地区消防組合救急搬送データ

▼砂川市立病院への救急搬送平均時間の短縮



※出典：深川地区消防組合救急搬送データ

▼時間短縮と救命率(カーラー曲線)



観光

- 平成29年度の砂川市の観光入込客数は、空知の産直そらいちマーケットなど新たな集客施設の立地もあり、過去5年間で最多となる141.3万人を記録しました。
- 観光期やイベント開催時における砂川SAスマートICの交通量は、年間平均を上回る利用があり、観光の活性化に寄与しています。
- 観光客アンケートからも約4割の方が来訪回数の増加になったという意見があり、アクセス性の向上が図られ、誘客効果がでていきます。



▼砂川SAスマートIC周辺観光マップ



▼砂川市における観光入込客数 ▼観光客アンケート



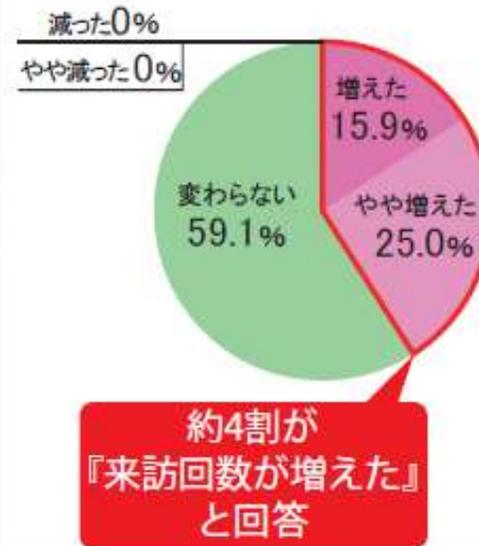
※出典：北海道観光入込客数調査報告書

▼各イベント時における砂川スマートICの平均流出交通量



※出典：NEXCO 東日本提供資料

Q. 砂川SAスマートIC開通によって、砂川市及び周辺の来訪回数が増えましたか？



約4割が『来訪回数が増えた』と回答

※出典：砂川市実施アンケート調査

産業

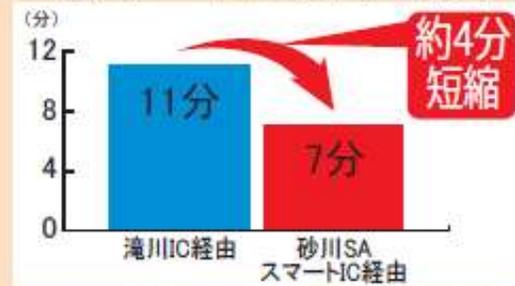
- 砂川SAスマートICを利用することにより、道央砂川工業団地から隣接IC（滝川IC、奈井江砂川IC）までの所要時間は約4分～6分短縮され、アクセス性が向上しています。
- 近年、減少傾向であった砂川市の製造品出荷額は、景気回復もあり平成28年度に275億円まで復調しました。
- 砂川SAスマートICを利用した生産性向上などを期待して、道央砂川工業団地の契約件数増加（新規立地企業1件）や近隣に店舗を新設、店舗拡張に着手するなど設備投資が進んでいます。



▼道央砂川工業団地へのアクセスと周辺企業における設備投資の活性化



▼滝川IC～道央砂川工業団地



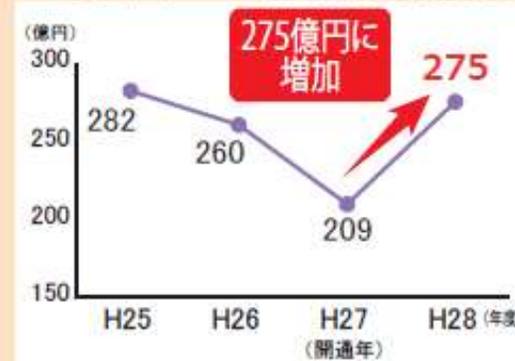
※出典：平成27年度全国道路・街路交通情報調査

▼奈井江砂川IC～道央砂川工業団地



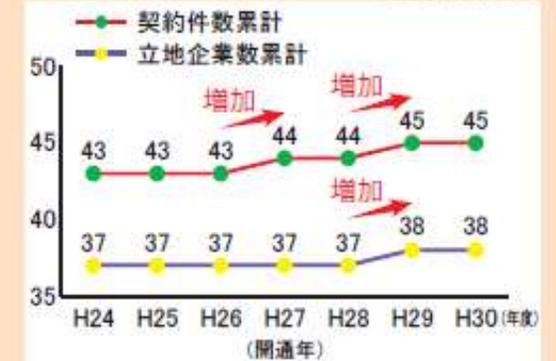
※出典：平成27年度全国道路・街路交通情報調査

▼砂川市の製造品出荷額



※出典：工業統計

▼道央砂川工業団地の立地企業数推移



※出典：砂川市道央砂川工業団地データ

■ 予約型乗合タクシー運行事業(平成27年度～)



■ 住み替え支援事業(平成27年度～)



■ 移住定住促進事業(平成17年度～)

- ・すながわお試し暮らし
- ・冬季移住体験モニター事業



お試しハウス(ほっこう、はるみ、よしの)



地域住民との交流会



冬季移住体験モニター

5 にぎわいと新たな活力を生み出すまち

人材の育成や起業・新分野進出への支援、企業誘致、6次産業化に向けた農業振興や各種基盤整備の推進に努めてきました。

また、既存の地域産業や観光資源を活かしながら、産業の多様な交流や連携を図り、新たな産業の創出による、にぎわいと活力に満ちたまちを目指してきました。

- ふるさと名物を活用した観光振興事業
- 若年者就労支援事業
- 「砂川地区かわまちづくり」計画事業
- 砂川ハイウェイオアシス館整備事業

■ ふるさと名物を活用した観光振興事業（平成29年度～）



地域ブランド構築事業 ログマーク



体験モニターツアー



女子旅

■ 若年就労支援事業（平成28年度～）



■「砂川地区かわまちづくり」計画事業（平成29年度～）



■ 砂川ハイウェイオアシス館整備事業（平成29年度～平成30年度）



ハイウェイオアシス館改修後



活性化プラザ 屋内遊具広場

6 次代へつなぐ市民と共に歩むまち

市民と行政が情報の共有を図り、相互理解と信頼関係を築くとともに、市民が主体的に地域に関わり、地域をつくっていく力となる地域コミュニティを育むことにより、協働のまちづくりを進めてきました。

また、市民に信頼されるまちづくりを進めるため、計画的な行財政運営や職員の意識高揚を図るとともに、持続可能で健全な財政基盤を確立し、市民とともに確かに歩むまちづくりを進めてきました。

○協働の環境づくり推進事業

○庁舎建設推進事業

■ 協働の環境づくり推進事業（平成23年度～）

- ・ 協働のまちづくり懇談会
- ・ 地域力UP講座



■ 庁舎建設推進事業（平成27年度～）



令和3年3月完成予定

- ・鉄骨造（耐震構造）
- ・地上4階、地下1階、塔屋1階
- ・延べ面積 5,932.15㎡



安心して心豊かにいきいき輝くまち

北海道 砂川市